



加古川市立山手中学校

学校だより

令和7年9月10日（不定期発行）

自主創造
親和協調
感恩奉仕

ICTとの共存③



ICTについて連続掲載中です(*^-へ^-*) ICT依存にならないために必要なこととして、

1. 対面での交流 2. アナログな活動 3. チーム活動への参加

などが挙げられています。現実世界での充実感や所属意識を高めることで、過度な依存を防ぐことができるということです。このことから、学校ができる対策として、前回お伝えした「情報モラル教育」に加え、ICTは「活用するもの」という前提も含め、上記のことを意識した取り組みを進めたいと思っています。

また、そういった趣旨の一貫として、保護者の皆さま、地域の皆さまにもご協力いただき、ともに活動したり学んだりする機会をできるだけたくさん持ちたいとも考えておりますので、ぜひご来校いただけるとありがたいです。今後予定している主な行事は下記の通りです。

開催日	開始時刻	行 事	主 な 内 容
10月10日（金）	11:00 （約1時間）	奉仕作業 （グラウンド除草）	保護者会主催、生徒とともに活動 ※雨天延期：10月17日（金）14:00
10月24日（金）	9:15	学習発表会	合唱、体育的行事、展示 ※雨天順延：10月27日（月）13:00
10月31日（金）	13:40	情報モラル講演会	SNSトラブルについて
12月12日（金）	13:40	育成協校区大会	講演会、取組発表（後日案内予定）

また、山手中学校では、能動的に、目的を持った学習ツールとしてICTを活用していく取り組みのひとつとして、「探究学習」を考えています。



【探究学習の利点として】

- ① **目的を持ったICT利用**：探究学習では、疑問点や課題を解決するために、必要な情報を主体的に検索・分析します。これにより、ICTを「時間を浪費する娯楽」ではなく、**「課題解決のための道具」**として捉える意識が育まれます。
- ② **思考力・創造性の向上**：探究学習は、単に情報を集めるだけでなく、得た情報を整理し、自分の考えをまとめ、発表するプロセスが含まれます。これは、ICTに依存することで低下しやすい**思考力や創造性を養う**良い機会となります。
- ③ **実践的な活動との組み合わせ**：調べた内容を、現実世界での活動と結びつけることで、ICTと現実世界とのバランスを取りながら、実践を通じて**深い学び**を得られます。

探究学習を通じて、「**人との関わり**」や「**自分たちで考えること**」を大切にしながら「**過去から学び、今を考え、未来を描く“深い学び”**」にしていきたいと思っています。